

京都BCP(連携型BCP)図上訓練(ライフライン)の開催結果

- 1 日時 平成29年1月23日(月) 14:00~16:00
- 2 場所 京都府庁福利厚生センター第1~3会議室
- 3 出席者 NTT、関西電力、大阪ガス、LPガス協会、京都府防災消防企画課

4 概要

検討項目1: 道路啓開・復旧作業の調整

--- < 内容 > -----

- ・発災から30時間後を想定。
- ・災害対策本部の地図を見て道路の被害状況等を把握し、各ライフライン事業者が復旧作業を進める上での、道路啓開・優先復旧が望まれる路線を検討する。

【まとめ】

- ・各事業所は概ね国道等の幹線道路沿いにあり、全国の応援部隊も直ちに集結するため(NTTは30時間以内)、太い道路を復旧させることが必要となる。また、事業所前の道路啓開も必要。
- ・応援部隊の集結場所として広い場所が必要。
- ・応急対策車両について、優先的な燃料補給について配慮する必要がある。

検討項目2: 病院・社会福祉施設、避難所でのライフライン応急対応

--- < 内容 > -----

- ・発災から30時間後を想定
 - ・相当数の大規模病院、大規模社会福祉施設(特別養護老人ホーム)及び避難所のライフラインが同時に断絶した場合において、電力・ガス・上水・通信の応急供給について検討する。
また、そのために必要となる内容(道路啓開等)について検討する。
- ※全ての施設で都市ガス、LPガスの両方を使用しているものと仮定。

【まとめ】

- ・応急対策又は復旧する施設の優先順位については、昨年度申し合わせたとおり各ライフライン事業者が府災害対策本部にリエゾン派遣し、府が判断した上で、ライフライン事業者全体で対応する必要がある。

検討項目3: 企業BCP関係でのライフライン優先復旧対応

--- < 内容 > -----

- ・発災から4日目を想定。
 - ・工場集積地、銀行、大型スーパーのライフラインの断絶が継続している場合について、各ライフラインの優先復旧又は応急供給は可能か検討する。
- ※対象のエリアでは、まだ復旧・応急供給はできていないものと想定。

【まとめ】

- ・工業地域等の復旧については、大阪ガス・LPガスはそもそも被害なし又は早急な復旧が可能、NTTは復旧可能、関西電力は状況によっては対応困難。

ふりかえりワークショップ

【まとめ】

- ・国や市町村と指示や要請が重複しないよう、府が調整する必要がある。
- ・復旧の優先順位の判断のためには、リエゾンは技術者がよいが、復旧対応に追われて派遣が難しいかもしれない。